

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和2年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 北勢中央公園（四日市市西村町地内）
指定管理者の名称等	株式会社名阪造園 代表取締役 田中清平（四日市市野田2丁目5-23）
指定の期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園施設のうち野球場、テニスコートの利用の許可 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R1	R2	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B			公園利用者からの意見を取り入れたり、利用者の安全対策を強化するなど、植物管理や施設管理を適切に行っている。
2 施設の利用状況	B	B			公園の利用促進として、SNSによる情報発信や感染防止対策を徹底しながらイベントを開催し、集客に努めた。
3 成果目標及びその実績	B	C		+	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標に達していないものの、管理業務や施設利用を適切に実施し、利用の促進に努めた。

※「評価の項目」の 県の評価 : 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、「管理業務の実施状況」及び「施設の利用状況」についてはB評価とし、「成果目標及びその実績」についてはC評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、業務仕様書に基づき植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や施設の一時閉鎖など、集客が困難な状況の中、感染防止対策を徹底した上でのイベントの開催や、SNSによる情報発信等を行い、集客に努めたことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標に達していないものの、管理業務や施設利用を適切に実施し、利用の促進に努めたことから、指定管理者の自己評価に比べて高いB相当と評価した。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>利用者への安全・安心を確保するため、施設の老朽化に対する適切な修繕及び維持管理を期待する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の確保が困難な状況ではあるが、感染症拡大防止のための対策を実施しつつ、利用者拡大に向けた取組を期待する。</p>
--------	---

<指定管理者の評価・報告書（令和2年度分）>

指定管理者の名称： 株式会社名阪造園

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 北勢中央公園事業の実施に関する業務

- 公園の利用促進として、感染拡大防止対策を徹底した上で、年間を通じ計5回のイベントを実施した。
 - 4月スマホ&携帯で撮って送ろう「北中の春」
 - 9月シャボン玉&らくがき de あそぼう
 - 11月シャボン玉&らくがき de あそぼう
 - 12月正月飾りづくり
 - 3月カブトムシ幼虫掘り体験
- 利用者に満足していただけるよう、緑地管理の徹底に努めるとともに、スズメバチの巣の撤去や芝刈りなど常にきれいで安全な状態を維持できるよう努めた。
- 生物多様性を重視し、苗木の育成、苗木の植栽、既存生物調査などを実施した。
- インスタグラム・フェイスブックによるイベント告知や日々の情報を発信した。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- 公園内の電気施設、浄化槽設備、消防設備、上水道設備、遊具施設の点検に関しては、専門業者に委託して定期的に点検を実施した。また、毎日の巡回時に点検を行うことで異常の早期発見に努めた。
- 園内施設の修繕としては、野球場照明不点灯ランプ交換、野球場ナイター照明配線修繕、東エントランストイレ安定器交換、テニスコート照明塔安定器交換、テニスコートネットの交換、芝生広場トイレ小便器修理、管理事務所内蛍光灯交換を行った。

③ 県施策への配慮に関する業務

- 「持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動」として、緑地管理で排出した竹・枝・葉のチップ化や堆肥化を実施した。
- 「男女共同参画社会の実現」に向けて、公園スタッフの登用には人柄、適性、能力を重視し、性別に関係なく幅広い人材を採用している。
- 「次世代育成支援の推進」として、現状は子育て世代のスタッフはいないものの、今後子育て世代のスタッフを雇用した場合に、子育てと仕事を両立できる体制づくりをすすめている。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- 北勢中央公園の管理に関する情報公開実施要領に基づき適切に対応した。令和2年度の開示請求はなかった。
- 作成した個人情報保護管理マニュアルに沿って公園職員を対象とした研修会を実施した。

⑤ その他の業務

- 園内での禁止行為(スケボー、ドローン、リードなしの犬の散歩)について、その都度指導を行った。
- 放火や自動販売機のつり銭の盗難等発生時、建設事務所と緊密に連絡を取り、素早く対処を行った。
- 近隣住民の要望を受けて、草刈りや倒木の処理を行った。(未供用エリア)
- 新型コロナウイルス感染症に伴う施策の遂行
 - ・ポスター掲示、ホームページ掲載、遊具使用禁止(一時的)、有料施設(野球場・テニスコート)の使用禁止(一時的)、職員のマスク着用徹底等

(2) 施設の利用状況	
<目標>	年間公園利用者数：235,000人
<実績>	年間公園利用者数：215,169人（前年度：238,793人 対比：90・1%）
	（内訳）
園内利用者数：	175,357人（前年度：191,998人 対比：91・3%）
野球場利用者数：	15,229人（前年度：19,942人 対比：76・4%）
テニスコート利用者数	24,583人（前年度：26,853人 対比：91・5%）

2 利用料金の収入の実績

<目標>	利用料金収入	10,600,000円
<実績>	利用料金収入	8,502,670円
	（内訳）	
	野球場	1,467,840円
	テニス	7,034,830円

3 管理業務に関する経費の収支状況

（単位：円）

	収入の部		支出の部		
	R1	R2		R1	R2
指定管理料	62,500,000	63,752,800	事業費	41,824,455	42,192,057
利用料金収入	9,525,150	8,502,670	管理費	30,774,105	30,325,359
その他の収入	689,353	690,739	その他の支出	0	0
合計(a)	72,714,503	72,946,209	合計(b)	72,598,560	72,517,416
収支差額 (a)-(b)	115,943	428,793	/		

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	-
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数	235,000人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数	215,169人
今後の取組方針	令和2年度の公園利用者数は、成果目標数値を下回った。新型コロナウイルス感染症等による社会情勢を鑑みながら、今後も積極的なPR活動や様々な取り組みを行い、利用者の増加を図る。	

5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	公園の適切な利用に関する案内、公園施設の日常点検や清掃、公園全体における適切な緑地管理を随時行い、利用者が安らぐことのできる安全・安心な場の提供に努めた。
2 施設の利用状況	B	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり予定したイベントが中止となるなど、集客が困難な状況の中、感染対策を徹底した上で年間5回のイベントを実施したり、SNSを活用した広報活動等を行った。
3 成果目標及びその実績	B	C	令和2年度の年間公園利用者数は215,169人となり、成果目標の235,000人に対し91.6%の達成率となり、目標を達成できなかった。 今後も利用拡大に向けて、社会情勢を鑑みながら様々な取り組みを計画し実施していく。

※ 評価の項目
「1」の評価 :

「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 業務計画を順調に実施している。
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※ 評価の項目
「2」「3」の評
価 :

「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 当初の目標を達成している。
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な 評価	<p>●上記の評価に至った理由</p> <p>「1 管理業務の実施状況」 業務仕様書に基づき植物管理や施設管理を適切に行い、利用者が安らぐことのできる安全・安心な場の提供に努めた。</p> <p>「2 施設の利用状況」「3 成果目標及びその実績」 年間来園者数について、目標人数を達成できなかったが、感染対策等を徹底しながら、利用者が安全・安心に利用できるよう施設の維持に取り組んだ。 令和2年度の公園利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、成果目標数値を下回ってしまった。来年度から社会情勢に注意しながらも、積極的なPR活動や魅力的なイベントを計画・検討し、利用者の増加拡大を図る。</p> <p>●残されている課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に施設の老朽化が目立ち、特に園内照明設備、有料施設設備など、県と協議しながら修理・修繕をすすめたい。 ・有料施設の優先利用について、利用客から選定基準等が不明瞭であるとクレームを受けた。県と協議し、優先利用に対する基準等を明確にしていきたい。 ・今後、新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、公園利用者の減少が予想される為、これまで以上に県との連携を十分にとっていく必要がある。
------------	--